

ふれあいいっぱい たのしさいっぱい

～ 障害のある人と共に～ < 小学校第3学年 >

目的 障害について正しく理解し、障害者の願いについて知る。
 障害のある相手のことを思いやり、共に楽しく過ごせるように考えを出し合い、交流を深める。
 身近にいる人に温かい心で接し、仲良く助け合って生活しようとする。

< 気づく >

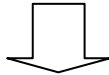
障害ってなに？

- ・ 障害に関する絵本や資料により、障害とは何か、みんなが共に楽しく過ごすためにはどうしたらよいかを考える

障害について正しく認識し、障害がある人もない人も共に人権が守られるべきであることを知る。

障害に関する絵本や資料の活用

音楽: 手話を使って楽しく歌う
 「友だち」
 「茶つみ」 など



< 広げる深める >

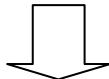
障害者福祉施設を訪問しよう

- ・ 訪問して、施設の人からの話や交流を通して、知ったり感じたりしたことを発表し合う

障害者福祉施設を訪問し、どのような活動がされているかを知り、施設の人とふれあう。

社会科との関連

「わたしのまち、みんなのまち」
 ・ 町の地形の特色、土地利用、主な公共施設の様子を知る。



< 計画する >

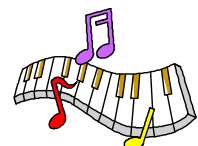
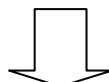
施設の人を学校に招待しよう

- ・ 交流会を開こう
施設の人たちを学校へ招待する交流会の計画をたてる

訪問した経験を生かして、施設のみなさんに楽しんでもらえるような集会を計画する。

図画工作科との関連

「交流会のポスターを描こう」
 「施設の催しをポスターで紹介しよう」
 など



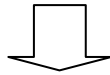
<実践する>

交流会へようこそ

- ・施設の人たちを学校に招待し、楽しく交流会を開く

自分たちが計画した催しで、施設の人と楽しく過ごす。

道徳との関連
「捨ったりんご」
(文溪堂)
・相手を思いやり親切にしようとする態度を養う。



<振り返る>

交流会を振り返り、次の出会いを考えよう

- ・交流会の反省を生かして、次の出会いの計画につなげる

交流会を振り返り、施設の人との交流をいっそう深める計画を考えようとする。

国語科との関連
「もうどう犬の訓練」(光村)
・目の不自由な人の助けになる犬がいることを知る。

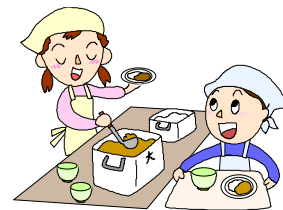


<実践する>

施設の人との交流を続けよう

- ・次回の交流会を計画し、すすめよう

継続的な交流会の開催により、施設の人との交流を一層深める。



【学習を進めるにあたって】

- ・学校の周辺にある障害者福祉施設の方々との交流は、継続的なかかわりの中から、子どもたちの施設の人に対する自然なかかわりが生まれてくる。
- ・最初は、特別な目で見たり、なかなか声がかけれない子どもの姿もあるが、回を重ねていくうちに自然なかかわりができるよう、場の設定や活動の内容、教師のかかわりや支援などの工夫が大切である。
- ・障害児学校、特別養護老人ホームなど、地域の実情に応じた施設の方々との交流をすることで、さまざまな人権課題に発展させることができる。